

平成21年度
紋別市における景気動向調査
<第1四半期>

報 告 書

紋別商工会議所

目 次

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間	1
2. 調査対象	1
3. 回収状況	1

II. 概 况

1. 全体の動き	2
(1) 今期の業況	2
(2) 部会別の動向	3
2. 今期の動向	
(1) 今期の売上高・生産高	6
(2) 今期の採算	7
(3) 今期の資金繰り	8
(4) 今期の在庫水準	9
(5) 金融機関の貸出姿勢と借入金利水準の推移	9
(5)-1 今期の金融機関の貸出姿勢	9
(5)-1 今期の借入金の金利水準	10
(6) 設備投資の実施状況	10
3. 来期の見通し	
(1) 来期の業況見通し	11
(2) 来期の売上高・生産高見通し	11
(3) 来期の資金繰り見通し	12

III. 各 指 標

1. 各指標	12
--------------	----

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1)調査時点 平成 21 年 7 月 1 日
(2)調査対象期間 平成 21 年 4 月～6 月期の実績および平成 21 年 7 月～9 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業十食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業十諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業十食品業部会	30 社	22 社	73.3%
水産業部会	30 社	22 社	73.3%
機械工業部会	30 社	21 社	70.0%
建設業部会	30 社	25 社	83.3%
観光・サービス業十諸業部会	30 社	25 社	83.3%
合 計	150 社	115 件	76.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

II. 概況

—業況は横ばい次期好転見込み—

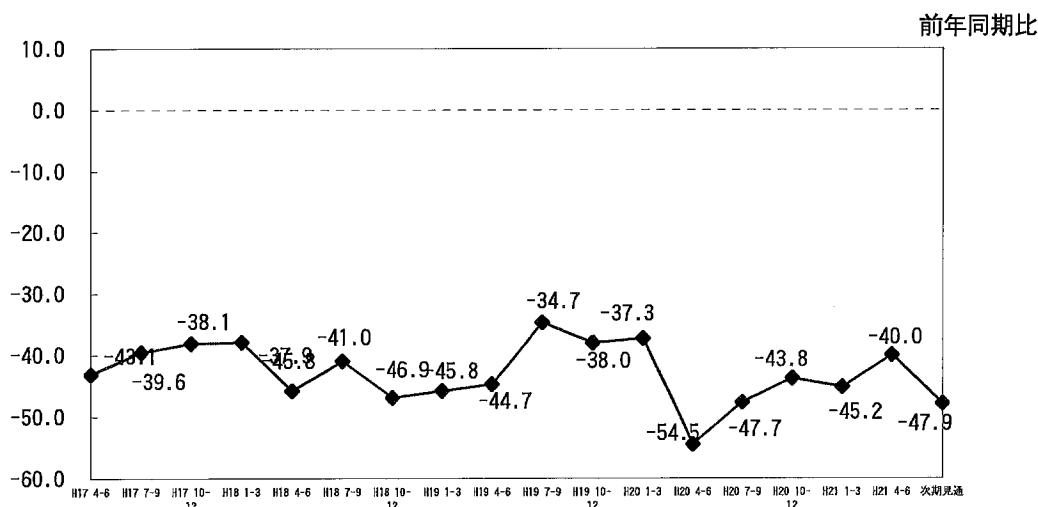
1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の今期(平成21年4月～6月)の全業種平均DI値(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、前年同期比では△40.0と前回調査時の△45.2より5.2ポイントのプラスとなりました。業況指標は若干戻ったものの時期見通しを見ても楽観できるような数字ではないことが伺え、市内済を取り巻く経営環境は依然として大変厳しい状況にあることが確認されます。

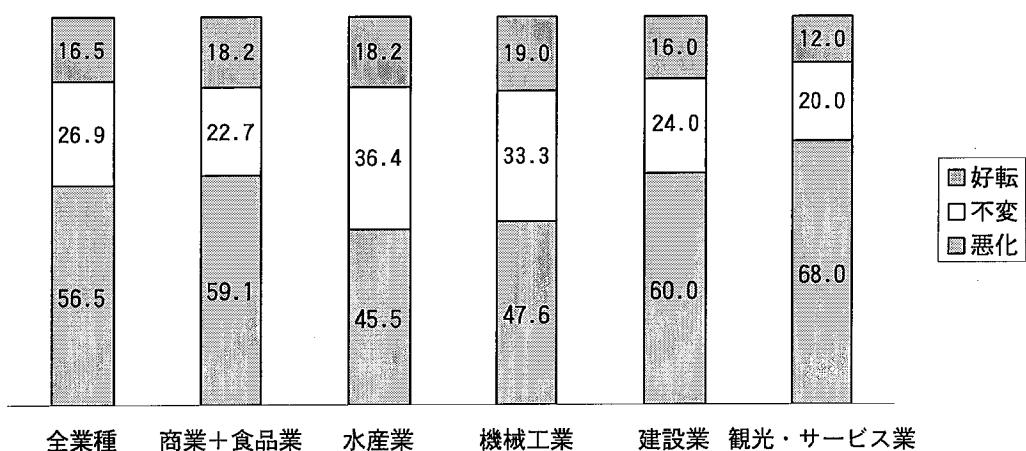
部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前期△40.0→今期△40.9]、水産業[前期△66.7→今期△27.3]、機械工業[前期△20.0→今期△28.6]、建設業[前期△26.7→今期△44.0]、観光・サービス・諸業[前期△61.1→今期△56.0]となりました。全体的には横ばいの中、水揚げが本格化してきた水産業がDI値に改善が見られたが、建設業の先行きが不透明で業況が悪化している状況です。水産業については毛ガニの水揚げが不調のまま漁が終え今後のホタテの水揚動向を見ていきたいところである。

来期(平成21年7月～9月)については、全体では今期と比べて業況判断DIが6.1ポイント悪化するとの予測となっていますが、このような傾向を見る限り政府が景気が底を打ったとか回復されつつあるという表現は当市には当てはまらないものと思えます。今後もどの業種についても大幅な改善は見込めない状況です。

業況推移(全業種平均D・I)



今期の業況(前年同期比)



経営上の問題点としては、売上・需要の減少の声が多く聞こえます。仕入れ単価や人件費以外の諸経費の増加を訴える声もが多く寄せられてきています。また、商店街の疲弊化はさらにひどくなってきており、お盆商戦を含む次期見通しも悪化見込みの予想であり、非常に厳しい状態を強いられています。全体的にあまりにも調査結果が悪いこともあり、毎回悪い数字で答えるのが嫌になってきているのが現状です。(調査のためにはどうしても協力が必要なため調査事業を続けていますが、事務局としても毎回無理にお願いをしております)

■部会別の動向

【商業・食品業部会】 [業況判断DI値(前年同期比)△40.9(前期△40.0、来期見通し△68.2)]

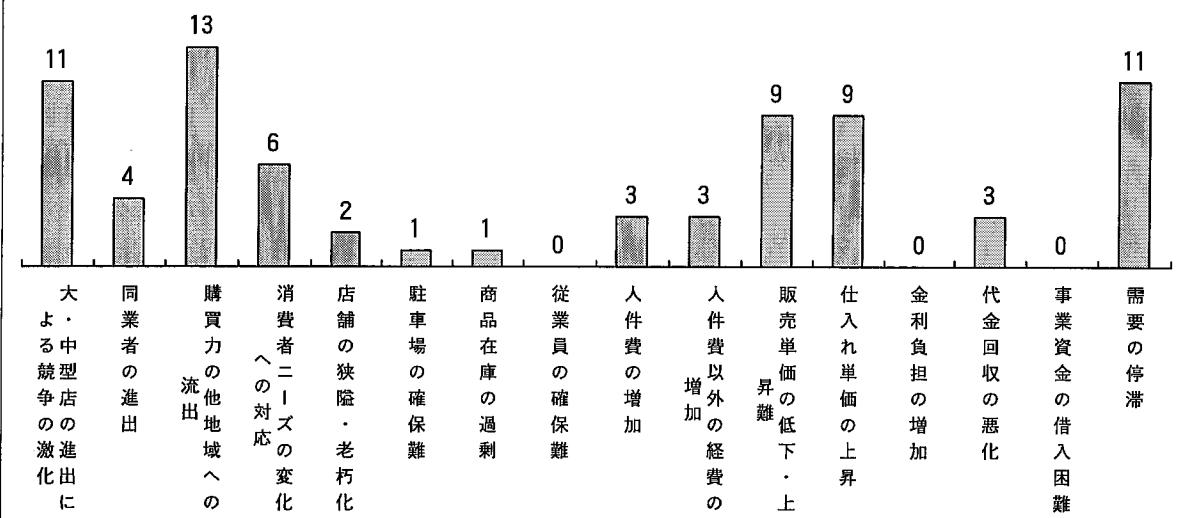
業況DI値(前年同期比)は、ほぼ横ばいの依然厳しい状況で推移しています。疲弊化がますます進み、シャッターを下ろす店が増加し、駐車場になっている場所が増えております。次期の見通しは27.3ポイント悪化すると予想されており、お盆商戦などあてにしていない現状が数字として窺えます。ポイントカード事業など積極的に行っておりますが売上に反映されていないのが現状のようです。商業食品業界は非常に厳しい状態が続いているります。

経営上の問題点としては「購買力の他地域への流出」「需要の停滞」「大・中型店の進出による競争の激化」を訴える声が多い。最近問題点を指摘する声もなくなっています。

《業界の問題点等》

- ・メーカー卸・小売(大型店)の再編成が激しく、卸商社のホールディング化、合併等による取扱い商材・売れ筋品の変化、欲しい商材の仕入困難、取引先の北海道撤退等。(小売)

経営上の問題点(商業・サービス業部会)



【水産業部会】 [業況判断DI値(前年同期比)△27.3(前期△66.7、来期見通し△22.7)]

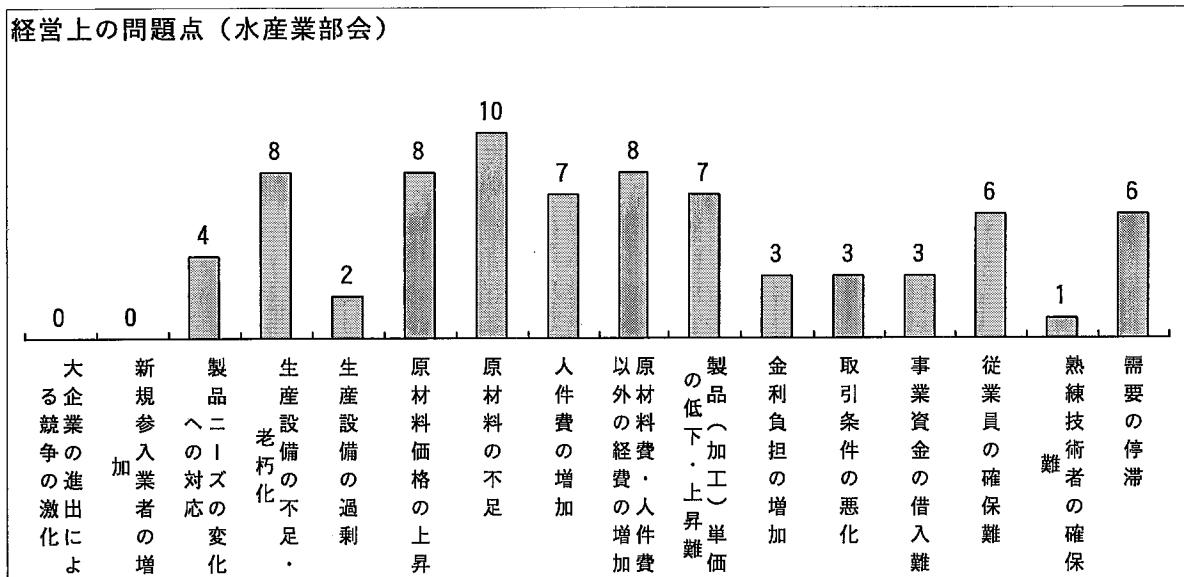
業況判断DI値(前年同期比)は前期よりも回復したように見えますが、春になり毛ガニ漁が最盛期をむかえ、ホタテ操業が始まる今期は若干数字が戻っている。来期見通しについてもホタテ最盛期に入り△22.7ポイントとほぼ同水準で推移する予想となっており、来期の見込みについて期待するところです。外勤まわりで市内状況を見ていると、水揚げ割り当てされたホタテのトラックが各水産加工場へたくさん入りし、やっと加工場の活気が戻ってきたように思えております。

経営上の問題点としては「原材料の不足」「原材料価格の上昇」「原材料費・人件費以外の経費の増加」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

- ・我が社は思いあるのみ(水産加工業)
- ・設備投資課題と見られており、今後の金融取引の警戒感が懸念される。(水産加工業)
- ・原料のホタテが足りない。(水産加工業)

経営上の問題点（水産業部会）



【機械・工業部会】 [業況判断DI値(前年同期比)△28.6(前期△20.0、来期見通し△42.9)]

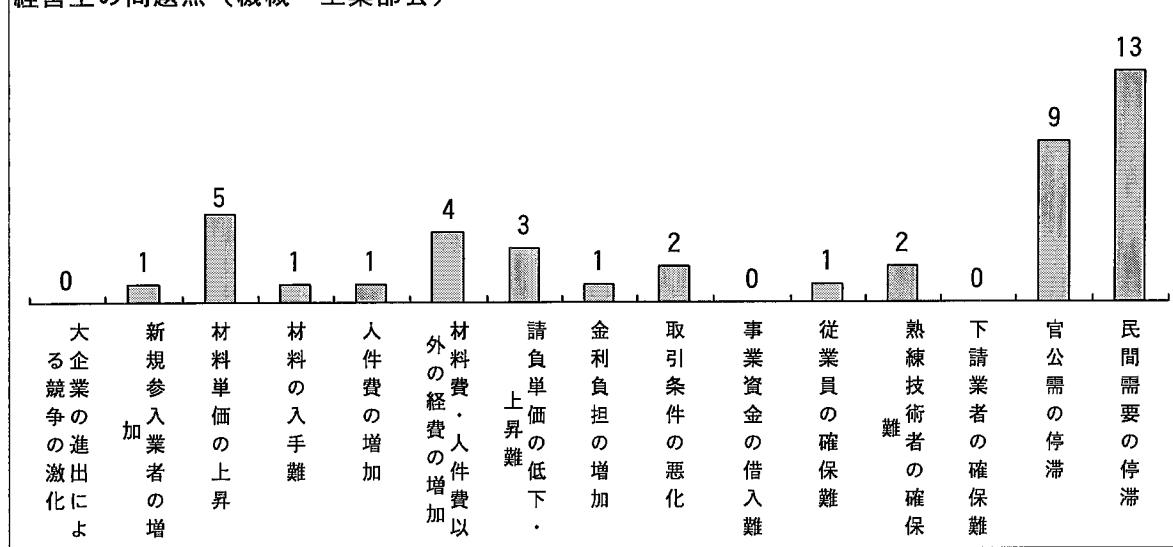
業況判断DI値(前年同期比)は、前期比で8.6ポイントの悪化だった。次期見通しの業況判断も繁忙期を迎える夏場でありながら、業況悪化が継続する見通しとなっています。自動車減税の関係で自動車小売りの方は伸びているようであるが、市内状況を見てみると売れ方が偏っているのではないかと思える感じがします。事業所の設備投資という面では動きが鈍いようである。

経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「官公需の停滞」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

- ・自動車整備業界は全滅ですね。(機械修理)
- ・世界全体不況の波が次第に広がって、経営環境の悪化が出てきました。国の対策も一時的に効果はあっても、根本的な解決には程多い感じがする現在の状況です。(機械工業)

経営上の問題点（機械・工業部会）



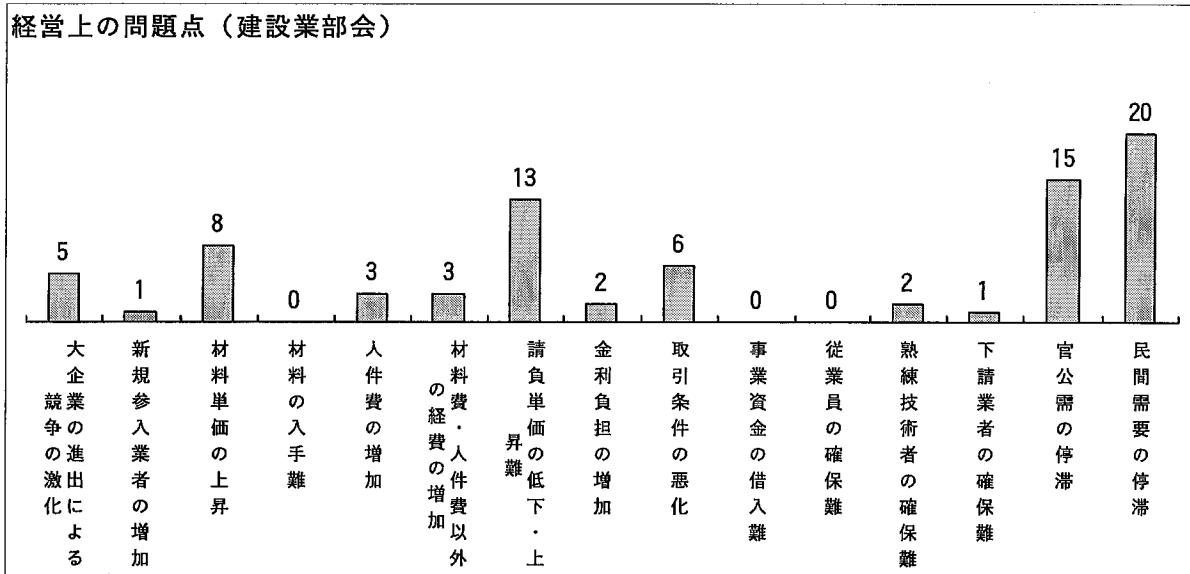
【建設業部会】 [業況判断DI値(前年同期比)△44.0(前期△26.7、来期見通し△44.0)]

業況判断DI値(前年同期比)は、前期よりも悪化している状況がうかがえます。これから本格的な繁忙期に入る予定ですが公共工事の減少、新築着工の少なさ等、大きな回復は見込めず厳しい状況です。

経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「官公需の停滞」「請負単価の低下・上昇難」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

- ・市民からの新築申請が全く出てこないのでどうしていいかわからない。(建設)
- ・建物工事の最終段階が設備電気工事なので仕事が来るまでに時間がかかる。ヒマである。(電気工事)



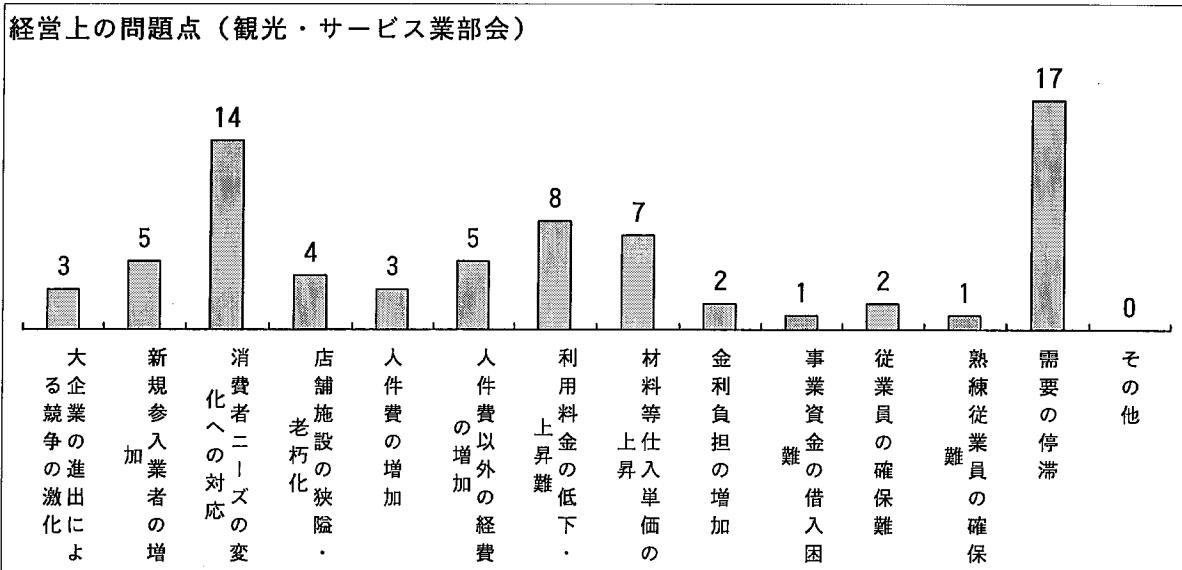
【観光・サービス・諸業部会】 〔業況判断DI値（前年同期比）△56.0（前期△61.1、来期見通し△52.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は横ばいで悪化継続。夏の観光シーズンがこれからにもかかわらず先行き見通しは悪い状態である。市内経済の低迷による客足の遠のき、観光客の減少、新しい居酒屋は流行っているものの、老舗の飲食店等は客足が遠のき苦戦との声が聞かれます。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」「消費者ニーズの変化への対応」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

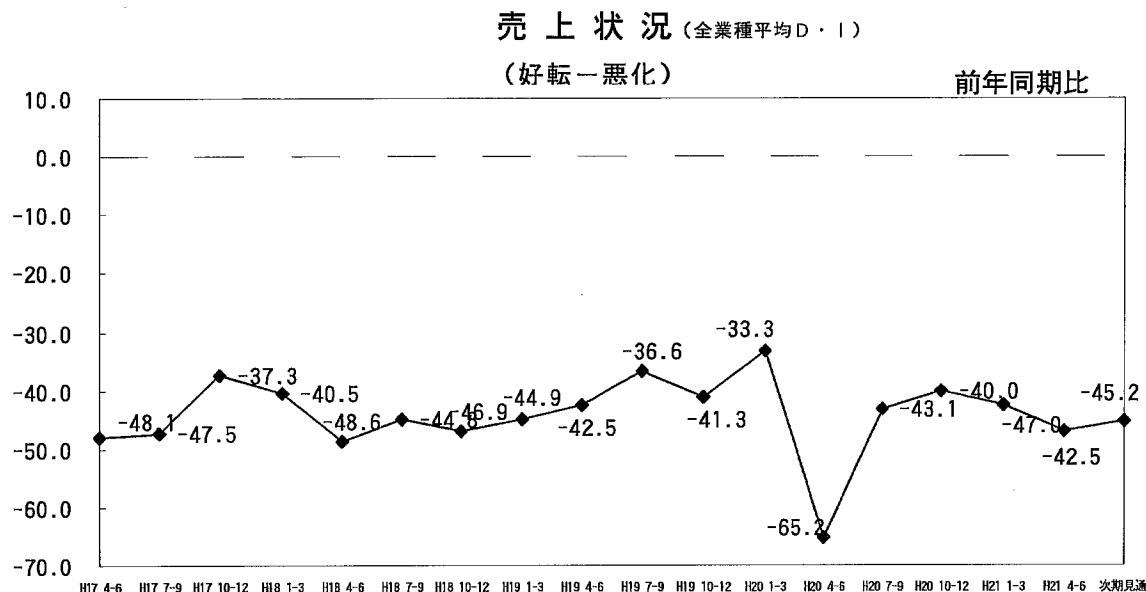
- ・客の商品選別の多様化により、手間が掛かる。その割に単価のUPも出来ず利益が薄い。（飲食店） あきらめた。（飲食業） 勤務時間が長い。（飲食業）
- ・高齢化による客の減少。大口が紋別から撤退したため、売上減少。仕事が集まらない。（クリーニング業）
- ・お客様の利用回数が2～3ヶ月に1回と減っている。また、市内に美容室が増え、カットのみで営業しているので子供達が床屋に来なくなってしまった。（理容業）
- ・昨年（20年度）6月からのガソリン大高騰（1リットル190円）から元の価格に戻り、高速道路料金も土日1000円乗り放題のお陰で遠方からのお客様大復活！油類の再高騰がない事を願うばかりです。（飲食業）



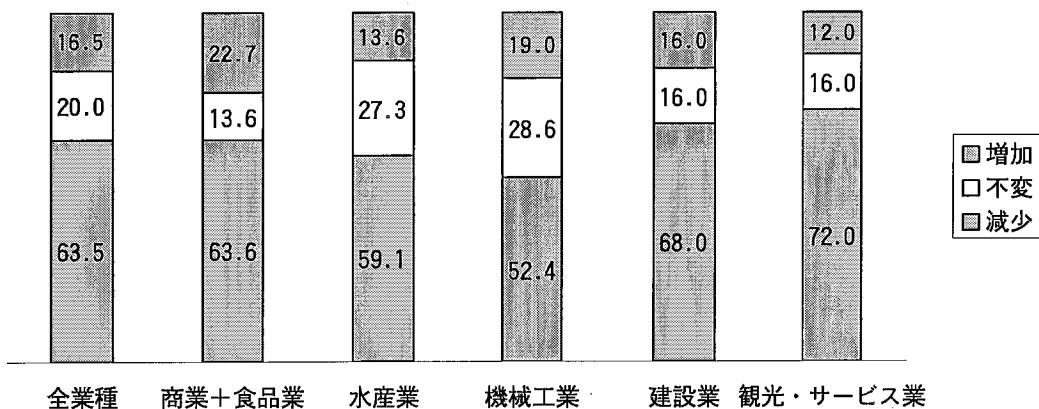
2. 今期の動向

(1)今期の売上高・生産高

【前年同期比】(平成 20 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の売上高)



今期の売上高・生産高 (前年同期比)



全業種平均で DI 値△47.0 [前回調査時 (平成 21 年 1～3 月期△42.5) より 4.5 ポイントマイナス幅を拡大] 来期は 4.3 ポイント悪化の見込み。

[部会別 DI 値]

商業・食品業 [前回△40.0→△40.9]、水産業 [前回△26.7→△45.5]

機械工業 [前回△20.0→△33.3]、建設業 [前回△20.0→△52.0]

観光・サービス業 [前回△66.7→△60.0]

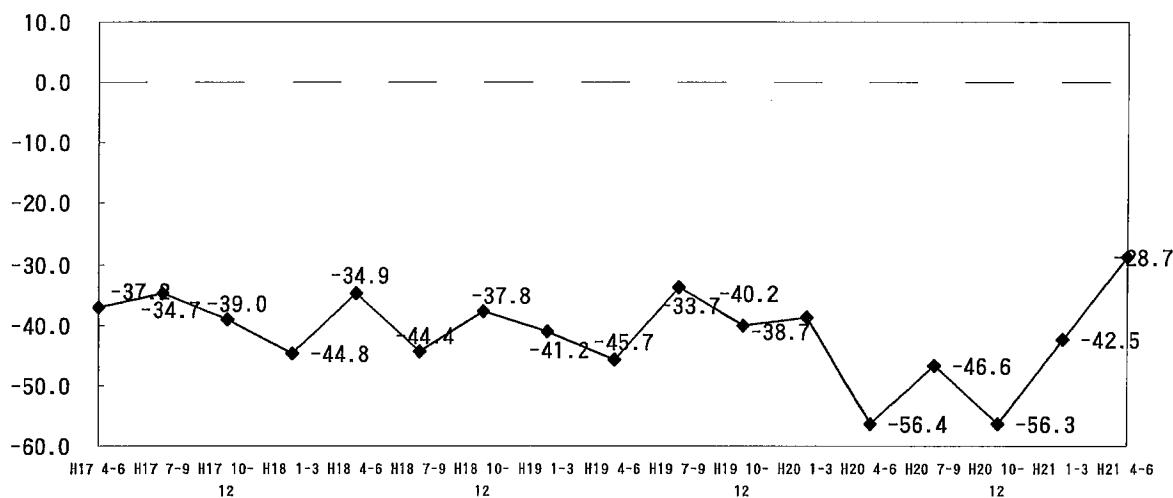
(2)今期の採算

【前年同期比】(平成 20 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の採算水準)

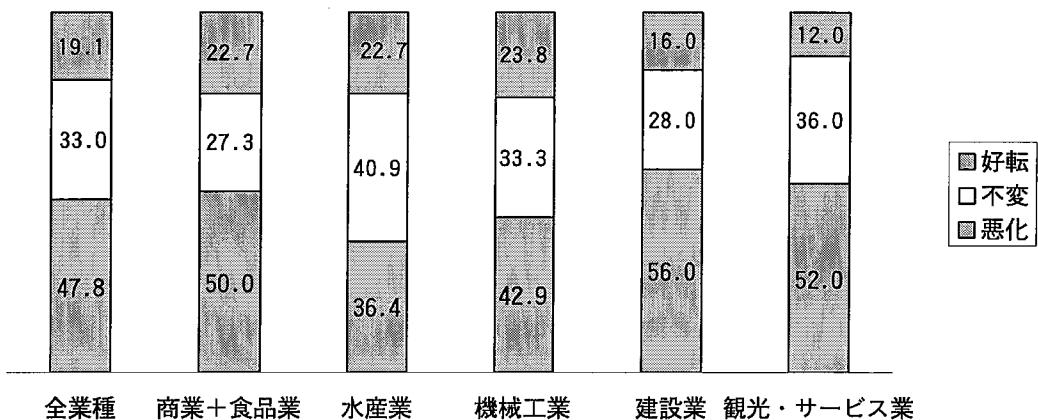
採 算 推 移 (全業種平均 D・I)

(好転 - 黒化)

前年同期比



今期の採算 (前年同期比)



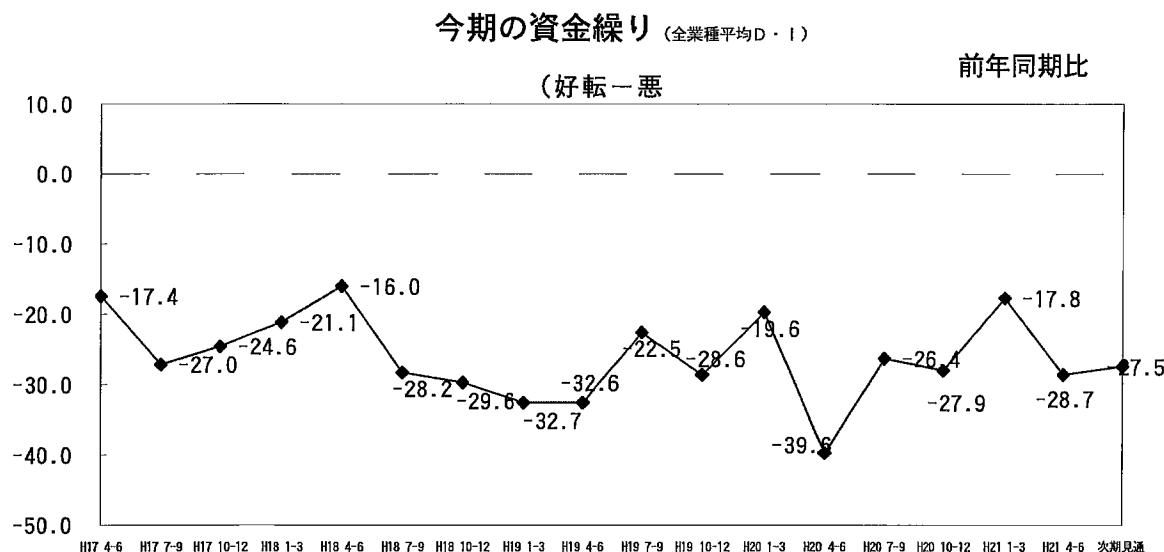
全業種平均で DI 値△28.7 [前回調査時 (平成 21 年 1～3 月期△42.5) より 13.8 ポイントマイナス幅を回復]

[部会別 DI 値]

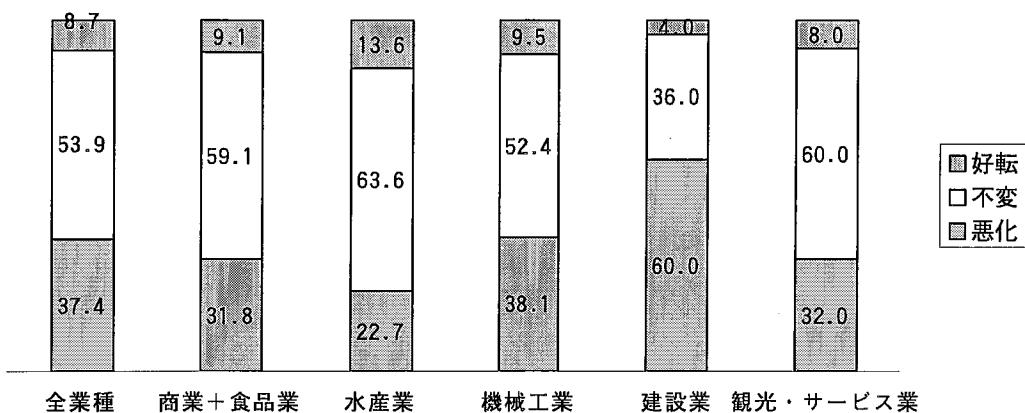
商業・食品業 [前回△20.0→△27.3]、水産業 [前回△66.7→△13.6]
機械工業 [前回△30.0→△19.0]、建設業 [前回△33.3→△40.0]
観光・サービス業 [前回△55.6→△40.0]

(3)今期の資金繰り

【前年同期比】(平成 20 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の資金繰り)



今期の資金繰り (前年同期比)



全業種平均で DI 値△28.7 [前回調査時 (平成 21 年 1～3 月期△17.8) より 10.9 ポイントマイナス幅を拡大]

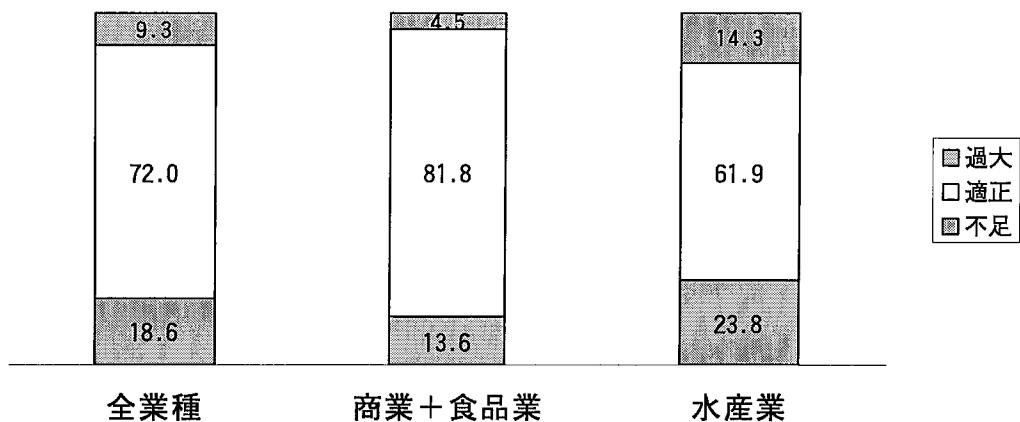
[部会別 DI 値]

商業・食品業 [前回△13.3→△22.7]、水産業 [前回△20.0→△9.1]
機械工業 [前回 10.0→△28.6]、建設業 [前回△20.0→△56.0]
観光・サービス業 [前回△33.3→△24.0]

(4)今期の在庫水準

【前年同期比】(平成 20 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の在庫水準)

今期の在庫水準（前年同期比）



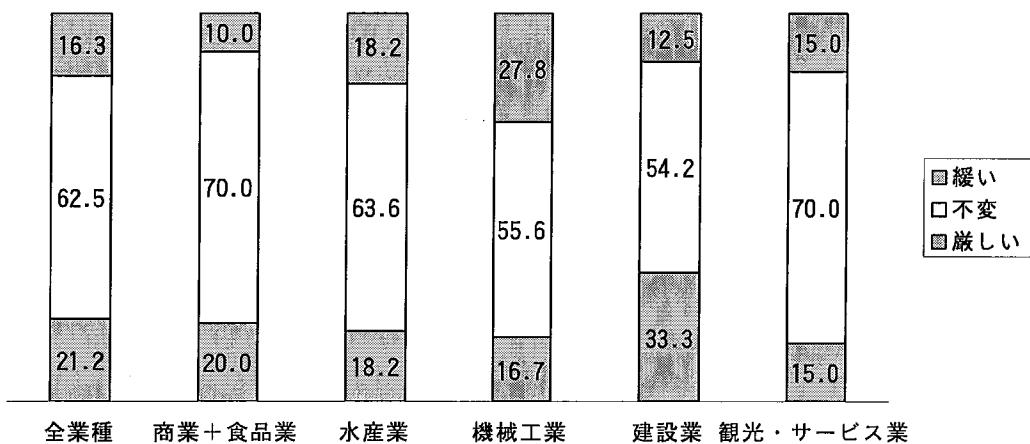
全業種平均で DI 値△9.3 [前回調査時（平成 21 年 1～3 月期 0.0）より 9.3 ポイント在庫減少]

[部会別 DI 値] 商業・食品業 [前回△6.7→△9.1]、水産業 [前回 6.7→△9.5]

(5)今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】(平成 20 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応)

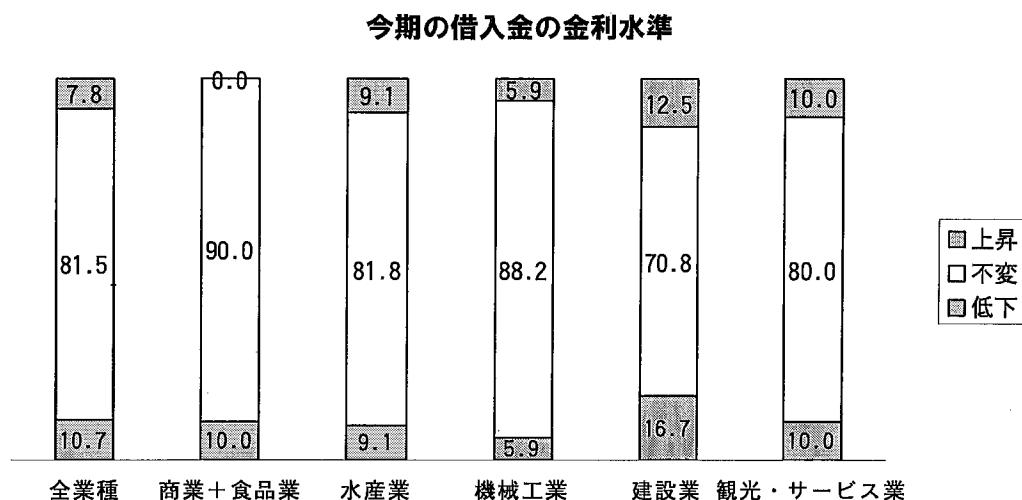
今期の金融機関の貸出姿勢



全業種平均で△4.9 ポイント。商業・食品業△10.0 水産業 0.0 機械工業 11.1 建設業△20.8 観光サービス業 0.0

(6)今期の借入金の金利水準

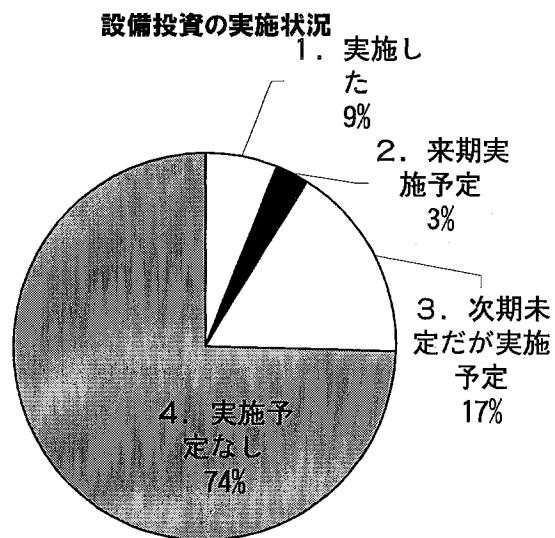
【前年同期比】(平成 20 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準)



全業種平均で△2.9 ポイント。商業食品業△10.0 水産業 0.0 機械工業 0.0 建設業△4.2 観光サービス業 0.0。

(7)設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

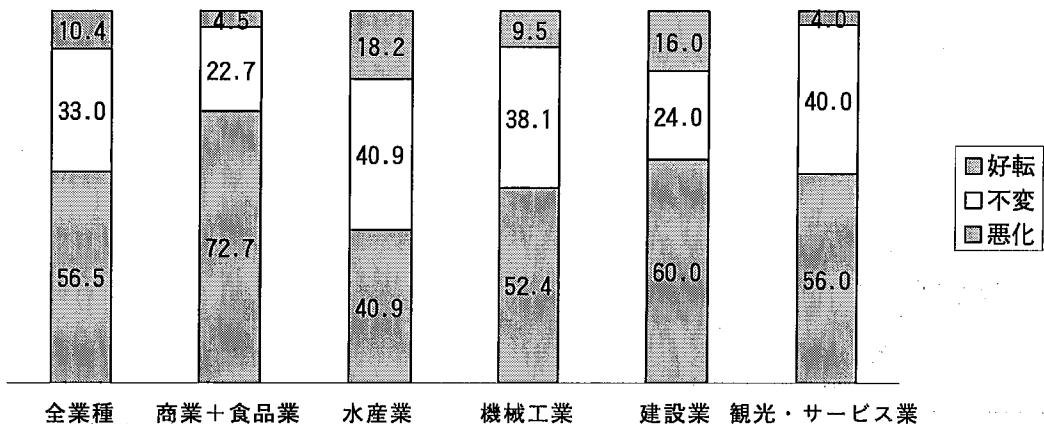


3. 来期の見通し

(1)来期の業況

【今期比】(平成 21 年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の業況見通し)

次期の業況見通し（今期比）

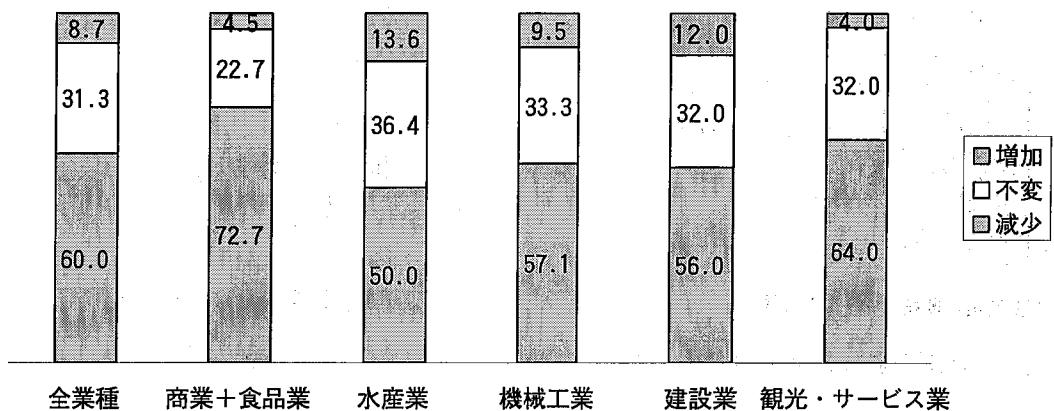


全業種平均 DI 値△46.1 [今期の業況 (前年同期比△40.0) より 6.1 ポイント悪化の見通し]

(2)来期の売上高・生産高

【今期比】(平成 21 年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し)

次期の売上高・生産高見通し（今期比）

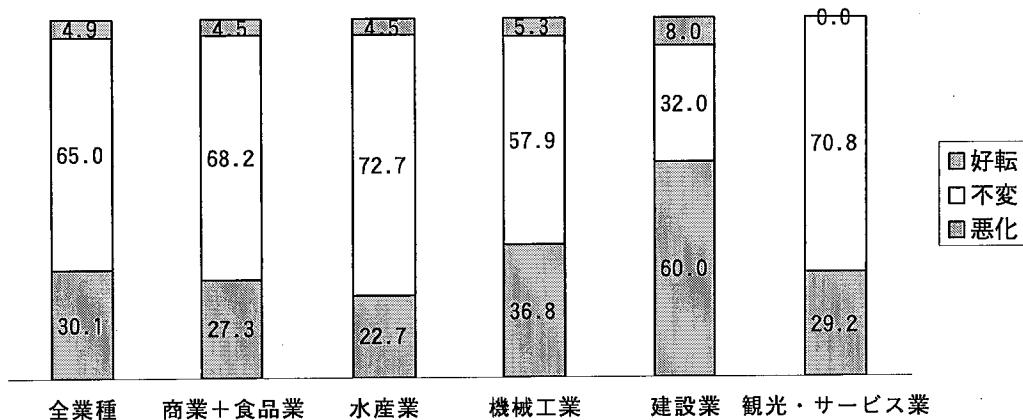


全業種平均 DI 値△51.3 [今期の売上高・生産高 (前年同期比△47.0) より 4.3 ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】(平成 21 年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し)

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均 DI 値 $\triangle 25.2$ [今期の資金繰り (前年同期比 $\triangle 28.7$) より 3.5 ポイント改善の見通し]

III. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建設業	観 光 サ ー ビ ス ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	$\triangle 40.0$	$\triangle 40.9$	$\triangle 27.3$	$\triangle 28.6$	$\triangle 44.0$	$\triangle 56.0$
	来期見通し	$\triangle 46.1$	$\triangle 68.2$	$\triangle 22.7$	$\triangle 42.9$	$\triangle 44.0$	$\triangle 52.0$
売上 D・I	今期実績	$\triangle 47.0$	$\triangle 40.9$	$\triangle 45.5$	$\triangle 33.3$	$\triangle 52.0$	$\triangle 60.0$
	来期見通し	$\triangle 51.3$	$\triangle 68.2$	$\triangle 36.4$	$\triangle 47.6$	$\triangle 44.0$	$\triangle 60.0$
在庫 D・I	今期実績	$\triangle 9.3$	$\triangle 9.1$	$\triangle 9.5$	---	---	---
	来期見通し	---	---	---	---	---	---
採算 D・I	今期実績	$\triangle 28.7$	$\triangle 27.3$	$\triangle 13.6$	$\triangle 19.0$	$\triangle 40.0$	$\triangle 40.0$
	来期見通し	---	---	---	---	---	---
資金繰り D・I	今期実績	$\triangle 28.7$	$\triangle 22.7$	$\triangle 9.1$	$\triangle 28.6$	$\triangle 56.0$	$\triangle 24.0$
	来期見通し	$\triangle 25.2$	$\triangle 22.7$	$\triangle 18.2$	$\triangle 31.6$	$\triangle 52.0$	$\triangle 29.2$
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	$\triangle 4.9$	$\triangle 10.0$	0.0	11.1	$\triangle 4.2$	0.0
	来期見通し	---	---	---	---	---	---
借入金 金利水準 D・I	今期実績	$\triangle 2.9$	$\triangle 10.0$	0.0	0.0	$\triangle 4.2$	0.0
	来期見通し	---	---	---	---	---	---

* 借入金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。